

日常からふみだす... 演劇days 2023.2/23(木)-26(日)



演劇 山口市内でこれまで行われてきた地域の劇団の公演チラシ・ポスターを一挙公開!

チラシ・ポスター展示会

2/23(木) 25(土) 26(日) **ホール I**

9:00-17:00

※ 24日(金)は休館日
 ※ 25日・26日の一部の時間帯は、演劇上演中のため展示会のみ入場が制限されます

日常からふみだす... **赤れんが演劇days** 2023.2/23(木)-26(日)

演劇公演		泊篤志 講演会	演劇チラシ・ポスター展示会	
開演時間は下記参照(各回30分前開場)		えんげきの深みに はまる?はまらない?	各日 9:00~17:00	
ユニット・ピコ ホール I	劇団シバイヌ ホール II			
23(木)		13:00~		
24(金)	休館日			
25(土)	上 13:30 下 17:30 下 19:00	A B B		
26(日)	下 12:30 上 14:00 上 16:30 上 18:00	B B A A		
※「上」「下」で上演内容が異なります。 ※「A」と「B」で出演者の組み合わせが異なります。		※ 演劇上演中は展示会のみ入場が制限されます		
入場料等	1公演 2公演 4公演 一般 ¥1,500- ¥2,500- ¥4,000- 高校生 ¥1,000- ¥1,500- ¥2,500- ※回数券は、お1人様での使用をお願いいたします。 ※当日は1公演券のみの販売となります。	¥500- 要事前申込 ※ 未就学児入場不可	無料	
ご予約	チケットプレイガイド 山口市民会館 山口情報芸術センター 認定NPO法人 こどもステーション山口事務局 クリエイティブ・スペース赤れんが	予約フォーム 	①氏名 ②連絡先電話番号を 下記お問合せ窓口まで お知らせください	予約不要
お問合せ	クリエイティブ・スペース赤れんが 開館:9:00~17:00、休館日:月曜日・祝日の翌日 〒753-0088 山口県山口市中原町5-12	TEL 083-928-6666 FAX 083-928-6611 mail renga-ya@c-able.ne.jp HP http://www.akarenga.justhpb.jp/		

クリエティブ・スペース赤れんが

TEL 083-928-6666
 FAX 083-928-6611
 mail renga-ya@c-able.ne.jp
 HP http://www.akarenga.justhpb.jp/

演劇公演に関するお問合せはこちら ▶▶▶ mail gekidanshibainu1210@gmail.com (劇団シバイヌ)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組にご協力をお願いします。※感染の拡大状況により、やむを得ず日程の変更や中止となる場合があります。最新の情報はHPをご覧ください。

日常からふみだす... 赤れんが演劇days について

コロナ禍の中、当初不要不急と言われていた文化や芸術でしたが、その機会がなくなってみるとそれは人の心にどれだけ必要なのであったか、だれもが感じたはずです。

学生演劇、社会人演劇はアマチュアとして創作活動を続け、公演という形で舞台芸術を発信しています。

山口ではその活動が活発なわりに、市民が観客として接することの少ない現状があります。しかし彼らの文化芸術に向けた情熱と活動が、見えないところでじんわりと山口のまちの文化の土壌をたがやしてくれているとはいえないでしょうか。

そんな「市民の演劇」を応援しつつ、市民のみなさんに広く演劇を楽しんでもらいたいとの赤れんが演劇daysを開催することにしました。

この機会に山口のまちの演劇人と舞台を通してコミュニケーションし、ともに山口のまちの文化芸術を醸造していければと思います。

総合芸術と言われる演劇は様々な芸術の要素が協調、調和してなりたちます。関わる人も役者をはじめおおぜいのスタッフがいて、その持ち場もまた多岐にわたります。そのようなことを念頭に置いて観劇すると演劇の魅力はいちだんと深さを増します。

文化芸術の小さな発信拠点、赤れんがは30年にわたって山口市民に愛されてきました。このたび開館30周年記念として市民の演劇にスポットを当て、「赤れんが演劇days」として、舞台公演ほか演劇への興味と理解を深める魅力的なイベントを開催します。

ACCESS

◆交通案内
 □山口宇部空港から⇒高速連絡バスでJR新山口駅まで約30分
 □JR新山口駅からJR山口線にて、山口駅まで23分、同駅より徒歩15分

□お車の場合...
 □山陰自動車道:防府東ICから約25分
 □中国自動車道(広島方面から)山口ICから約15分
 □中国自動車道(九州方面から)小郡ICから山口宇部道路経由で約15分



えんげきの深みに
はまる?はまらない?

2/23(木) **ホール II**
 open 12:30 start 13:00

泊篤志 講演会

講師プロフィール
 「飛ぶ劇場」代表、劇作家、演出家。北九州市出身。1998年「生態系カスタン」で第3回劇作家協会新人戯曲賞を受賞。1999年「RON」が第44回岸田國士戯曲賞最優秀者にノミネート。現在、北九州芸術劇場のローカルディレクターとして九州演劇界の底上げに努めている他、美術館とコラボレーションしている作品制作、オペラの構成・演出、書道パフォーマンスの演出、「東アジア文化都市 北九州」の開幕式典の演出を手掛けるなど、活動の幅を広げている。

演劇 演劇

に する 上・下

作:野仲 星 / 演出:中野 志保

クリエイティブ・スペース赤れんが開館30周年、おめでとうございます。ここでは色々な作品を作ってきました。楽しい話、悲しい話、日常の話、妄想の話。いつもどんな作品も、赤れんがは綺麗に飲み込んでくれる。ありがたい場所です。さて、今回ピコは2つの「演劇に関する演劇」を創ることにしました。1つは、2020年から現在までの話。もう1つは、1940年代前半のお話です。何故この2つにしたかと言いますと、どちらも「演劇が不要とされた時代」だと思ったからです。演劇を必要としてくれている赤れんがで、演劇が不要な頃の作品を創る。なんだか矛盾を感じますが、これもまた演劇の醍醐味。きっと赤れんがが綺麗に飲み込んでくれることでしょう。

なんとと言っても今回は劇団シバイヌさんとの同日開催。演劇づくしの2日間、どうぞ楽しんでいただくと幸いです。 ユニット・ピコ管理人 中野志保



unit PICO

2016年、管理人・中野により突如発生した超・自由型ユニット。メンバー、ジャンルを定めず、誰かの「やりたい」に合わせて、様々な企画公演に挑戦している。企画公演ごとに「この企画限り」の仲間を集め、ユニット結成。公演が終われば解散、という、密でドライな関係の中で、作品を作っていく。「やりたい」が「できる」に変わる瞬間の面白さを求めて、今日もゆるやかに前進中。

@unitpico0
@unitpico

上

女A:小田 芽生 女B:秋元 彩花

「青春失格ちゃん」



「決められない男たち」

とある基地で、芝居のタイトルを考える男たち。話の内容に合った最高のタイトルを思案するが、なかなか決まらない。すると、1人の男が言い出した。「タイトルを先に考えた方がいいのでは？」終わりの見えない、暇つぶしの物語。



あらすじ

男は変わっていく現実から目をそらすように旅へ出かける、気が付くと「西彼方」駅へたどり着いていた。そこは、誰のものでもない人形たちが暮らす町。身代わり人形、ダンテ。ぬいぐるみ、チッチ。花嫁人形、ミジヨ。招き猫のムクタニ。そして、人形たちに慕われている頭だけ人間のカシラ。この町は、懐かしい匂いがある。時折聞こえるサイレンの音と、時の止まったような人の形をしたものたちと、穏やかな時間が流れる。しかし、突如町の均衡は崩れ出す。変わっていくこと、守るべきものはいつもせめぎあう。誰そ彼時に、町に鳴り渡る音。それはあなたに何を告げるだろう。



大学の演劇団体OBにより、2011年12月結成。2022年結成10周年。山口市を中心に活動。企画・脚本宮崎萌美。日常と非現実をあいまいにした世界観と、詩的なセリフ回しで誰かが幸せになるエンドを描く。オムニバス形式や即興劇など公演形式も様々。劇団員は、客演・イベント・ラジオ・動画出演・企画など精力的に活動している。人が人を演じ、嘘がウソでなくなる瞬間のエネルギーを生で感じられるシバイヌ。吾輩たちは芝居の犬である。名前はシバイヌ。

劇団シバイヌ

鳴り渡る空は何色

劇団シバイヌ演劇公演

脚本・演出 宮崎萌美

僕らは変わる
——たとえ 望まれていなくても

結論が「今すぐ」に求められる時代で、演劇は対話し何度も見つけなおす発酵型タイプの場。今回一緒に演劇を作るのは、初めてオシバイをする方、初めてシバイヌに参加する演劇人、頼れる仲間。私たちは分かり合えない。そう簡単には変わらない。そう思うけれど「今」を「誰か」と分かち合う感覚は、互いに小さな存在証明を受け渡しているようにも感じます。このたびは赤れんがさん30周年の記念事業に参画させていただき、本当にうれしく思います。いつも無茶なお願いをする私たちに大きな心で応えてくださる赤れんがの皆さんへ、劇団結成10周年を迎えて、この場所を拠り所としているひとりとして、感謝と精一杯の舞台と遊び心よ届け!

劇団シバイヌ代表 宮崎萌美

